



お手持ちの計測器を組み合わせた

CO₂濃度監視システム

新型コロナウイルス感染拡大防止において、ビル管理法同様にCO₂濃度1,000ppm以下となるように換気を行うことが有効です。

ビル管理法における空気調和設備を設けている場合の空気環境の基準

ア 浮遊粉じんの量	0.15 mg/m ³ 以下
イ 一酸化炭素の含有率	100万分の10以下※1特例あり
※ウ 二酸化炭素の含有率	100万分の1000以下(=1000ppm以下)
エ 温度	17°C以上28°C以下
	居室における外気の温度より低くする場合は、その差を著しくしないこと
オ 相対湿度	40%以上70%以下
カ 気流	0.5m/秒以下
キ ホルムアルデヒドの量	0.1mg/m ³ 以下(=0.08ppm以下)

※1:特例として外気がすでに10ppm以上ある場合には20ppm以下機械換気設備を設けている場合は、上記のアからウまでを遵守する必要がある。

また、室内などの密閉空間で1000ppmを超えてくると眠気や疲労感を感じやすくなり、作業効率に影響を及ぼすとされています。空間の見える化は「安心、安全作業の見守り化」に繋がります。

お手持ちの計測器を組み合わせ、作業環境のCO₂濃度、換気状態の監視システム構築をお勧めします。

組み合わせ計測例

VAISALA

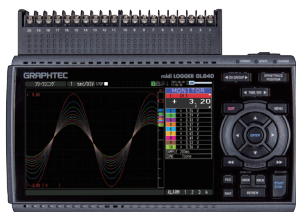
GMW90 シリーズ



1. 長期安定性に優れたCO₂、温度計測 (Opt.湿度)
2. アナログ/デジタル通信
3. ユーザーによる交換可能な校正済みモジュール

GRAPHTEC

GL840/240 シリーズ

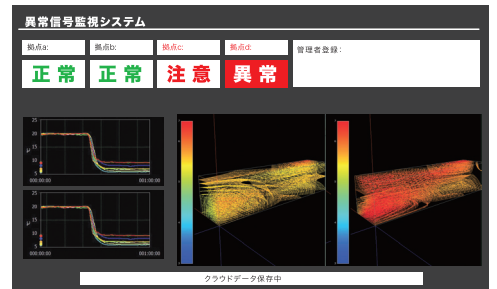


1. 無線LANユニットによるデータ収録が可能
2. GL840→20ch(200ch)まで
3. GL240→10chモデル
4. スマートデバイスアプリ無償



実環境空間表現ソフトウェア

1. 多チャンネル同期計測の4D表現
2. 実画像+計測信号の重ね画像
3. クラウド機能



リモート異常信号監視ソフトウェア

1. 多地点リモート計測(クラウド監視可)
2. 異常信号アラート機能
3. 複合センサー同期計測

環境改善もお任せください



例) フロアーコーチ Ez

オープンクリーンシステム
KOACH
清浄度：クラス1



QUALITY&KINDNESS

九州計測器株式会社

support@qk-net.co.jp

